

# 令和3年度 豊富小学校 グランドデザイン (7月1日追記)

生きる力の育成

北海道教育の基本理念/宗谷管内教育推進の重点/豊富町教育推進の重点

**児童の実態**

- 明るく素直であり、体を動かすことが好きである。
- 友だちに優しく、仲よく関わることができる。
- 思考力や表現力を伸ばす必要がある。
- それぞれの地域社会に見守られながら育っている。

**学校教育目標**

- 自立
- 共生
- 創造

**保護者・地域の願い**

- 小学校の学習内容を確実に理解してほしい。
- 自分の考えを表現でき、思いやりのある人になってほしい。
- 自分の健康・安全に気を付けてほしい。
- 郷土に誇りをもつ人になってほしい。

**重点目標**

- 先を見通し、主体的に物事に取り組むことができる力の育成
- 発達段階に応じた望ましいコミュニケーションを取ることができる力の育成
- 自らの考えに基づき、よりよい行動を取ることができる力の育成

**学校経営の重点**

- 1 国や道・町の施策を理解した上で、町職員を含めた全教職員の参画の下、協働的に教育課題の解決にあたる組織づくり  
(支援員の柔軟かつ効果的な配置/教員が担う必要のない業務の他への移管)
- 2 学習指導要領に基づいたカリキュラム・マネジメントの徹底  
(加配事業を通じた迅速な検証改善サイクルの確立)
- 3 児童一人一人のよさ引き出し、他者と適切に関わる力やねばり強さを育む学級経営ならびに児童会活動での指導  
(児童自らが企画したことを実行することができる多様な機会づくり)
- 4 指導力の向上を目指す校内(校外)での研修活動の充実  
(個々の児童の力を引き上げる授業づくり/アウトプット面での ICT 機器の効率的な活用/計画的な校内研修・視察研修の実施)
- 5 誰もが生き生きと健康に仕事を進めることができる職場づくり  
(勤務時間と休憩時間の区別/年間の時間外勤務が 360 時間以内)
- 6 学習環境の整備ならびに施設・設備の充実と学校財政の効率的な運用  
(特別支援教育に係る学習環境の更なる充実)
- 7 学校運営協議会の下での地域に開かれた学校づくりの推進ならびに家庭や関係機関とのツーウェイでの関係づくり  
(保小中高連携に関する施策の試行・実行)
- 8 危機管理意識の保持ならびに服務規律の保持の徹底  
(危機管理マニュアル・安全指導計画・情報管理規定等の改善、職員側の訓練)

**目指す学校像**

- 児童の「わかった」「できた」に満ちた楽しい学校
- 組織力を最大限に発揮することを通して、教職員が時間的なゆとりをもって働くことができる学校
- 保護者・地域住民から信頼される学校

**目指す教師像**

- 児童の心に寄り添い、共に学び高めあう教師
- 自らの健康に留意しながら、使命感をもち続けることができる教師
- 節度ある行動が取れ、自己研鑽に励むことができる教師

**【確かな学力を育む授業・活動づくり】**

- 基礎的・基本的な内容を確実に習得し、「主体的な学び」につながる各教科等での授業づくり
- 全校で統一して指導する事項の徹底および個々の児童の実態に応じた指導の工夫・改善や組織的な支援
- 前年度までの既習内容や授業の中で定着が不十分なところを、再度復習・確認することができる仕組みづくり

**【数値目標】**

- 豊小の基本的な授業の流れにのっとり、学習内容を確実に理解させることができている。(教職員評価 R2 結果 2.6、R3 目標 3.4)
- 国語・算数の勉強がよくわかる。(児童評価 R2 結果 3.1/3.3、R3 目標 3.4)
- 各種検査・テストでは、正答率 75%以上を目指す。
- 標準学力検査(CRT 算数)の各学年の全国比スコアを前年度より 5%上げる。

**【他者と適切に関わる力を育む生徒指導・特別支援教育の充実】**

- 校内での適切な言語活動・言語環境づくり、発達段階に応じたコミュニケーション能力・表現力を育む活動の場や学校行事の充実
- 障がい種や個々の児童の特性に即し、各児童の能力(非認知能力を含む)を最大限引き上げるための指導の工夫・改善
- 児童同士が自らよりよく生きようとする気持ちをもたせるための全教育活動を通じた指導

**【数値目標】**

- 発達段階や特性に応じた適切な言語活動を各教科・領域で設定している。(教職員評価 R2 結果 2.5、R3 目標 3.0)
- 学校は授業や行事での指導・支援を通して、子どもたちの表現力を育てている。(保護者評価 R2 結果 3.1、R3 目標 3.2)
- 特別活動の充実を通して自治力の向上や望ましい集団づくりに努めている。(教職員評価 R2 結果 2.6、R3 目標 3.0)

**【望ましい生活・学習習慣の確立】**

- 発達段階に応じて自分の健康や安全についてよりよい行動を取ることができる力の育成
- アウトメディアをねらいとした事業・取組の実施を通じた児童の自律心の育成
- ICT 機器の活用を含めた宿題・家庭学習の在り方についての学校と家庭の共通理解

**【数値目標】**

- 健康・安全に自分で注意しながら学校内外での生活を送っている。(児童評価 R3 目標 3.4)
- 家庭や関係機関と連携し、児童に望ましい学習・生活習慣や食習慣を身に付けさせることができている。(教職員評価 R2 結果 2.3、R3 目標 3.0)
- 児童は毎日家庭でも学習している。(保護者評価 R2 結果 2.9、R3 目標 3.2)

**【信頼され、地域と共にある学校づくり】**

- 学校評価や各種検査・テストの結果を 3 週間以内で改善に生かす組織的な協働体制づくり
- 地域連携担当を中核とした地域環境を生かした特色ある教育活動の展開および地域の教育力(地域学校協働本部を含む)の活用
- 企画した取組の確実な実施を通じた町アクションプランの達成

**【数値目標】**

- 教育課程の短期での検証改善サイクルが校内で確立されている。(教職員評価 R2 結果 2.9、R3 目標 3.6)
- 教職員は組織的に協力して教育活動を進めている。(保護者評価 R2 結果 3.3、R3 目標 3.4)
- 道費負担教職員の年間の時間外勤務を 360 時間以内とする。

**豊富町学校教育推進の重点**

- 社会で生きる確かな学力、資質、能力の育成
- 主体的に考え判断する豊かな心の育成
- 人生の基盤となる健やかな体の育成

**北海道が目指す教育の基本理念**

- 自立～ 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む
- 共生～ ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む

**宗谷管内教育推進の重点「子どもの未来保障+10」**

- 柱1 学力保障
- 柱2 業務改善
- 柱3 施策理解・推進
- 柱4 学校・家庭・地域による地域課題の共有
- 柱5 児童生徒の安心・安全な環境の保持
- 柱6 生涯学習の充実